

風しんぶん



自転車で、バスで、電車で、車で、走行実験を行いました。

5月、6月の週末に各1回ずつ、「5km圏走行実験」チャレンジアクションを行いました。

5km圏内の目的地まで、“自転車の利便性が高いことを証明しよう！”ということで、公共交通利用、自動車利用、自転車利用のいずれが目的地まで早く到着するかを検証しました。

1回目実験結果

手段	10分	20分	30分	備考
バス	徒歩 待ち時間 県総合庁舎バス停	バス 丸塚中	33分	
鉄道+バス	徒歩 待ち時間 遠州病院駅	鉄道 乗換え時間 上島駅	バス	22分
鉄道+折りたたみ自転車	徒歩 待ち時間 遠州病院駅	鉄道 組立時間 自動車学校前駅	自転車	22分
車	出庫待ち 徒歩 北田町地下駐車場	佐藤町交差点 車 入庫	21分	2位 平面駐車場に駐車 ・15分後にママチャリを 抜く
自転車(ロード)	茄子橋	自転車	17分	1位 ・文芸大北-茄子橋- 早出 ・ルート間違ひのため、 別途走行した結果による
自転車(ママチャリ系)	中田交差	自転車	21分	3位 ・文芸大北-茄子橋- 早出-中田町

自転車(ロード)は2名のうち、早かった者の時間

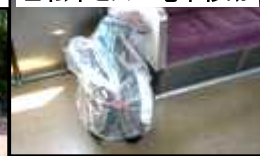
自転車(ママチャリ系)は3名(うち1名は電動アシスト付自転車の女性)のうち、最も早かった者の時間

1回目は5月10日(日)、11時45分スタート。

まちづくりセンター前からゴールのイオン浜松市野ショッピングセンター北側入り口(バス停前)までを5パターンに分かれ、9名で行いました。ゴールデンウィークが終わってすぐの日曜日ということもあり、渋滞もなく車に有利な状況でした。同一ルートでは、約15分で車が自転車(ママチャリ/歩道走行)を追い抜きました。浜松の道路は車が走りやすいように出来ていますが、自転車が走りやすい道が少ないようです。



自転車と共に電車移動



2回目は6月7日(日)、13時スタート。浜松市博物館からゴールのZAZACITY本館正面入り口まで、3パターンに分かれ、9名で実験を行いました。今回は街中近辺で日曜日ということもあり、道路は多少渋滞をしていました。また、車は有料駐車場(立体)を利用するため手間や時間がかかりました。コンパクトさや裏道を使っでの走行で自転車(ロード用、ママチャリ系共に)が圧倒的に早いことが証明されました。しかし、街中では駐輪場や自転車と歩行者の関係など様々な問題があるように感じました。

2回目実験結果

手段	10分	20分	30分	備考
バス	待ち時間 丸塚遺跡前バス停	バス 徒歩 田町中央通りバス停	20分	
車	出庫 徒歩 北田町地下駐車場	車 入庫 徒歩	16分	・zazaシティ西館駐 車場3Fに入庫
自転車(ロード)	自転車 徒歩	7分	1位	・秋葉坂下-高町-連 雀交差点
自転車(ママチャリ系)	自転車	10分	2位	・秋葉坂下-鴨江寺 から伝馬町交差点
自転車(ロード)		13分	3位	・市立高校前-鹿谷 郵便局-市役所前
自転車(電動アシスト付自転車)	自転車 徒歩	14分		・秋葉坂下-高町-連 雀交差点

今後、8月2日(日)～9月18日(金)には「車に乗らない1週間～環境にやさしい生活実験～」(7/5号の広報はままつで参加者を募集します。)など、ノーカーデー関連のイベントをいろいろと予定しており、引き続き“環境にやさしいまちづくり”について考えていきます。

高塚駅周辺地区

地域のまちづくり



高塚町は平成 3 年に浜松市と合併した旧可美村のなかにあり、町のほぼ中心に JR 高塚駅があります。高塚駅は南側のみに改札口があり、駅南側は古くからの住宅街であり住宅が密集しています。一方、駅の北側は大半が工業地域の用途に指定されており、工場・住宅・農地等が混在しています。また、一部市街化調整区域に指定されており、駅北口が無いことと合わせて、駅に至近でありながら有効な土地利用ができない要因となっています。駅という地域の大きな財産を活用し、健全で有効な土地利用を図って、「ゆとりとうるおいあるまちづくり」を実現することが地域の大きな目標となっています。

高塚町まちづくりの会

高塚駅周辺の整備については、旧可美村の時代から行政で検討していて浜松市に引き継がれました。それにあわせて平成 6 年に自治会内に土地区画整理委員会が設置され、区画整理事業の勉強会や住民アンケートなどを実施しました。その後、平成 12 年に「高塚駅周辺まちづくりの会」、平成 14 年に「高塚町まちづくりの会」と改称し、ほぼ毎月 1 回のペースで勉強会を開いて現在に至っています。

会の勉強会では、行政やまちづくりセンターの支援を受けながら、何度もワークショップを重ね、地域の主要課題を見つけ、それを解決すべく区画整理による整備構想も独自の視点で作成してきました。区画整理事業を活用し、駅北口の開設と橋上駅化による南北連絡強化、狭く危険な道路の解消、下水道の整備、住宅・工場混在の解消、土地の有効活用など、地域の課題解決を図ることを目指しています。

事業の実現化

市の厳しい財政事情の中、事業着手のメドがなかなか立たず、また、事業期間を短縮する意味からも区域を大幅に縮小することを余儀なくされました。最終的には会の役員が個別訪問して、8 割以上の地権者の方から事業への賛同が得られた区域を事業予定区域として確定し、今後は平成 23 年度の事業着手に向けて関係機関との本格的な協議・手続きが進められていきます。

今後の課題

事業区域は確定しましたが、未だ事業に賛同していただけない方が多くいることも事実です。今後も引き続きまちづくりの会として活動を進め、行政とも協力して、より多くの地域の方に事業への理解・協力をいただくことが課題となります。また、区画整理事業は道路や公園を整備する基盤整備事業であり、土地を利活用し建物を建てることは、その先の地域のみなさんの手に委ねられることとなります。引き続きまちの将来像をみなさんと考え、土地の利用方法や建物の建て方のルールを決めたり、地域のコミュニティを深める活動を継続したりすることにより、本当に住み良い快適なまちづくりが実現することとなるでしょう。



高塚駅の橋上駅化も決定しました



住宅・工場・農地が混在し、狭く危険な道路も多くあります



何度も勉強会、ワークショップを重ねてきました

兎野・大柳地区

豊かな地域環境を活かした

緑と安らぎにあふれた魅力ある地域づくり



兎野・大柳地区は、浜松市の南東部に位置し水田と集落地を中心とした豊かな環境を有する地区です。JR浜松駅から3.5kmと市街地に近く、また地区内には国道1号バイパスと掛舞線が通り交通の便のよい場所ですが、市街化調整区域のため土地利用が厳しく制限されています。一方農業の後継者不足は深刻な問題で、耕作されない荒れた農地や無秩序な開発が見られ、住民は地区の将来に大きな不安を抱えています。

まちづくり協議会

数年前に地区内で大型商業施設の出店計画が持ち上がりました。それを機に地区の発展や環境保全についての住民の取り組みが始まり、市の住民協議推進条例にもとづく土地利用協議会「兎野・大柳まちづくり協議会」が平成17年に設立されました。協議会では地域の活力を維持・向上させていくために、新しい住民や商業施設・工場などの受け入れを目指しながら、豊かな住環境を保全し農業を継続していく方策を検討し以下の取り組みを行っています。

土地利用の検討

土地利用を計画的に進めるために、開発を許容する区域と保全を優先する区域の区分けを検討しています。地区にどんな用途の建物がふさわしいかを考えながら、道路ネットワークなどの基盤整備と合わせて、地区の均衡ある発展を目指しています。

農地の利活用

農地を集約化して耕作や維持管理を省力化するための検討や地域全体あるいは法人や企業が営農を継続していく仕組みを模索する一方、体験農園を実施して市民との交流や意向調査、魅力ある農園利用の可能性を検証しています。

まちの将来像

兎野大柳地区が抱える問題は、市街地周辺に存在するかつての農村集落に共通する悩みでもあります。市街化調整区域において住民が自らまちづくりの方針を定め実現するこの仕組みは、市内3地区で行われています。いま当地区の取り組みは、「ステップ2 まちづくり方針」をまとめる段階で、実現に最も近い位置にあります。全国的にも稀で先進的なこの取り組みが注目を集める中で、協議会の皆さんは地区住民とともにまちの将来像を描こうとしています。



地区の現状（荒地・畑・住宅・施設）



協議会で土地利用について検討



体験農園（田植え）

住民協議によるまちづくりの仕組み

ステップ1 土地利用協議会の設立

↓
地域のまちづくりについて
みんなで考える場をつくる

ステップ2 まちづくり方針の決定

↓
地域のまちづくりの方向性を示す
土地利用のルールをつくる

ステップ3 実現手法の決定

まちづくり方針の実現に向けて
具体的な手法を選択する

たねからみのり

平成21年度市民協働たねからみのりが始まりました。4/16(木)に事業説明会を行い、4/17～5/11にかけて地域の社会的課題(提案者が認識する課題)・なやみのたね(市が認識する課題)を解決するための協働事業の企画を募集しました。1次選考を通過した6提案の公開ワークショップを6月13日(土)まちづくりセンター2階ギャラリーにて行いました。

事業提案

1	小学生への住教育事業	NPO法人 浜名湖マンション・コミュニティーセンター
2	お笑い子ども劇団「たねからみのり」	NPO法人 子ども環境劇団PAF
3	浜松市障害者スポーツの現状調査	NPO法人 浜松市障害者スポーツ協会
4	日系ブラジル人情報支援サイト	ブラジルふれあい会
5	人と動物と共生するしくみづくり (PART1:迷い犬返還率向上・愛護動物飼い方等マナー向上)	捨て犬!捨て猫!ゼロの会
6	水循環を核とする「まちづくり」モデル事業	NPO法人 浜松NPOネットワークセンター

「一人一人では出来ないことも皆で協力し合えば出来ることが沢山ある。このワークショップを通して改めて実感しました」
との感想も・・・。

今後、1次提案をした団体を対象に、今回のワークショップでの議論を踏まえ、市との委託契約で事業を実施したいと考えている団体の方に2次提案書の提出をしていただきます。

展示



浜松市博物館巡回展「なつかしの浜松」を3月13日から通年開催しています。
大正、昭和初期と現在、浜松のまちの移り変わり見ることができる展示となっています。展示の内容は2～3ヶ月に一度替わり、何度か足をお運びいただきますと、様々な浜松をご覧いただくことができます。年配の方には“なつかしい情景”が、若い方には“現在の浜松との対比”を楽しんでいただくことができ、新たな浜松の発見をすることができると思います。

浜松学芸高等学校美術科・書道科卒業生による「もうひとつの小さな凧揚げ祭り in ただ今、美術中展」を6月3日から29日まで開催いたしました。

クリエート浜松ギャラリー31にて、4月30日(木)～5月6日(水)に行われた作品展に来場された方に、5センチ四方の小さな凧に「浜松への思い」を1文字もしくは絵を書き入れてもらい、それぞれの文字にまつわるエピソードや、展示風景の写真も一緒に展示しました。



これからのサロン展示

7/18(土)～7/19(日)	新作ゆかた展(浜松ゆかたまつり)	(主催:浜松織物卸商協同組合)
8/1(土)～8/10(月)	遠州自然展	(主催:遠州自然研究会)
8/19(水)～8/31(月)	アジアの子供絵日記展	(主催:世界遺産の会)
9/24(木)～10/29(金)	朝鮮通信使展	(主催:余暇プランナー協会)



新たに加わったまちづくり関係団体

(6月20日現在)

	団体名	活動の分野	紹介
156	特定非営利法人 ヒューマンサポートGoingまい・ペース	福祉	しょうがいがあるない関係なく、誰もが「ホッ」とできる空間時間を“一緒”に創りだす。当事者の目線で誰もが安心安全に生きて行くことを学ぶ。



まちづくり夜楽塾



第81回 「浜松まつりの語りべ 今と昔」

3月25日(水)

昨年に続き、浜松まつりの今と昔について様々なお話をして頂きました。凧揚げでは、「今の合戦は合戦になっておらず、凧を揚げている人たちの自己満足になってしまっていて、見ている子どもたちがかawaiiそう」との厳しい意見やご指導もありました。また戦時中、疎開をする際、祭好きの両親が法被を入れてくれた家庭が多く、終戦の翌年の祭では町に染色店がなかったにもかかわらず、皆が法被を着て参加することができたなど経験者ならではの話しも聞くことができました。これからの浜松祭のためにも若い人たちの育成に力を入れていって欲しいと強く訴えかけていました。



お話しは・・・
山田 有一さん
(「動・粹・静」浜松まつり著者他)



第82回 「まちづくり講座受講生による研究成果発表」 3月29日(日)



お話しは・・・
平成20年度まちづくり講座
受講生の皆さん

平成20年度の受講生が中心市街地活性化について研究した成果を発表しました。1グループ目は、「自転車利用促進のネットワーク作り」と題し、自転車専用道の提案として、郊外と中心市街地を結ぶ路線や主要施設を結ぶ路線などの案を紹介し、目的に一貫性を持った道路整備と利用者のモラル、周知の必要性を話されました。2グループ目は、「浜松まちなか気になる建物Map」と題し、地域資源を生かそう、保存していこうという想いを込めて作ったマップを紹介しました。マップには、江戸時代から続くお店から比較的新しい施設まで写真入りで掲載され、建物から人と文化の結びつきの深さを感じ取れると、建物と文化を守り続けていく大切さを話されました。



第83回 「街の色彩を考える 街色・心色・装い色」

5月27日(水)

2グループに分かれ、建物や看板の写真を見ながらワークショップを行いました。参加者からは「都会などネオンがある場所だったら合うと思うが、住宅が多い場所には合わない。」や「情報がありすぎて何を見たらいいのかわからない。」など、意見が次々に出てきました。牧野さんは、建物だけを見て「素敵だな」と感じるのではなく、その土地に建ったときに、あるいは周りの背景にその建物が建ったときに、その建物はどういう存在であるのか、どんなイメージをみんなに与えるのだろうかという観点で考えてみるといいのではないかと話されました。



お話しは・・・
牧野怜子さん
&会員の皆さん

★ ★ 関係団体からののお知らせ ★ ★

専門ドッグトレーナーによる犬の無料しつけ相談会

9/26 (土) 11:00~12:00、13:00~14:00の2回

これから犬を飼いたい方や飼っている方のために、犬のしつけや飼い方、困り事の相談に応じます。継続して参加されることをお勧めします。

各回10組 (1日計20組)

【場所】 遠州灘海浜公園

【お申し込み先】海浜公園053-442-6775 ワンコステップ053-489-4130



リサイクルパソコンの提供

企業などから提供されたノートパソコンをリサイクルし、希望者(障がいのある方)に提供します!

【ご負担金】NPO法人活動支援として windows2000 は20,000円、windowsXPは25,000円ご負担していただいております。

【申し込み方法】電話又はFAXでお問合せください。NPO法人福祉のまちづくり市民ネットワークPCリサイクルセンター
〒430-0942 浜松市中区元浜町357番 元浜メゾンオーク1階

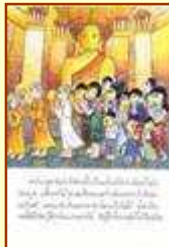
TEL:053-475-3003 FAX:053-475-3009(24時間)

E-Mail: recycle@fukushinet.jp HP: <http://www.fukushinet.jp/recycle/>

電話の場合の受付時間は、月曜日～土曜日の13:00～17:00です。



『アジアの子供絵日記』展



素晴らしい自然と文化、風習、伝統など様々な日々の生活が、豊かな色彩とタッチで描かれています。ぜひ、多くの人に観ていただき、アジアの子供たちの姿を知っていただきたいと思います。そして、アジアの国々の交流の輪がさらに広がるよう祈念しています。

《展示会期》2009年8月19日(水)～8月31日(月) 入場無料

《展示会場》浜松まちづくりセンター1階サロン(9:00～21:30 火曜日休館)

主催:世界遺産の会 <http://s072wisan.sakura.ne.jp>

日本語教育支援者実践的養成講座

外国につながる子どもたちの日本語教育(JSLを含む)支援者実践的養成講座受講生を募集します。

【対象】退職教員、退職間近な教員、各種の日本語教師養成講座修了者及び受講中の方

【定員】30名(応募者多数の場合、抽選により決めさせていただきます。)

【期間】平成21年9月～22年2月 原則として隔週土曜日 13:00～16:30

【受講料】無料(ただし、保険料、資料代として3,000円)

【申込期間】6月25日(木)～8月7日(金)

【問合せ先】浜松市外国人子ども教育支援協議会 浜松市中区元城町102-1 浜松市立元城小学校内

e-mail: NPOtomo2@aol.com TEL/FAX:053-457-3006



講演会「不登校して今がある」～当事者から学ぼう～

日 時:9月27日(日) 13:00～16:30

場 所:アクトシティ浜松研修交流センター401会議室

参加費:1,000円(18歳以下無料)

申し込み先:TEL&FAX 053-448-6129

MAIL:yokoao9@nifty.com

主 催:浜松登校拒否親の会

ゲストには、東京からお二人をお呼びします。一人は、いじめから不登校を経験された須永祐慈さん。もう一人は、自身も不登校経験があり、また中学生の息子さんも不登校となった伊藤書佳さん。

第2回地球といきものたちのまつり

9月20日(日)～26日(土) 10:00～17:00 @浜松市内屋外・屋内各所

9月21日(月祝)～23日(水祝) 10:00～17:00 @JR浜松駅前



動物愛護週間制定 60周年の今年は市内外からの多数の団体が参加し、多彩なイベントを展開します。映画「犬と猫と人間と」上映、写真展、書籍展、パネル展、犬とのふれあい、犬の無料しつけ相談会、ダンスファンタジー、ダンスライブ、コンサート、トークショー、アートフェアなど。命について考えてみませんか。

(主催)地球といきものたちの実行委員会・浜松文化フォーラム TEL/FAX:053-471-8538

共生にこここまつり&ボランティア募集

今年は昨年以上に楽しめる企画がもりだくさんです。みなさまのご参加お待ちしております。

10月11日(日) 9:00～14:30(予定)

【会場】笠井共生活動センター、笠井共生活動センター北側広場、笠井新田第1第2自治会公会堂
【内容】模擬店・ゲームコーナー・施設販売・バザー・染色体験など

こここまつりボランティア募集

【内容】10日 10:00～12:00 13:00～18:00 テント張り・運搬など(ご協力して頂ける時間を申し出ください。)
11日 8:00～16:00 模擬店、バザー売り子、駐車場当番など

【集合場所】笠井共生活動センター

7月11日までに笠井共生活動センターの藤田までご連絡ください。当日ボランティア(一日)の昼食は、こちらで用意させていただきます。来園方法については電話にてお問い合わせのうえ、ご相談ください。

【申し込み先】NPO法人 笠井共生活動センター 担当:永田 彩乃

TEL053-433-8891 FAX053-443-8891 e-mail:kasai-kyousei@xug.biglobe.ne.jp

浜松まつり会館前広場フリーマーケット



開催時間:10:00～14:00

出店募集数:50店(県西部在住の方のみ)

出店料:手持ち出店1,500円 車出店2,000円

予約制(当日出店は不可)

*****8月はお休みです*****

※雨天の場合は中止です

お問合せ先

浜松リサイクルネットワーク

TEL090-6597-5488



★★センターからのお知らせ★★★

まちづくり塾

「銅鏡が語る、古の遠州Ⅲ」^{いにしえ} 7/25(土)

13:30～15:00

今回のお話は・・・植松 勇介さん(静岡産業大学非常勤講師)

まちづくりセンターにて

遠州地方に遺る銅鏡を通して、地域の歴史を学ぶと共に、当時の人々の生活・文化などについて紹介します。今回は浜松市北区の佐久城跡出土鏡や森町の八阪神社伝世鏡などを扱う予定です。昨年及び一昨年の続編として開催しますが、新しい内容なので初めての方でもご参加いただけます。

9/6(日)

14:00～15:30

まちづくりセンターにて

「(新)米ぬか健康法」

今回のお話は・・・江間 輪江さん(玄氣倶楽部代表)

(病気にならない食事法・・・病気は自分で治す法) 皆さんが毎日食べている白米は主食ですか?副食ですか?元気とは・・・広辞苑から 天地間に広がり万物生成の根源となる精気。活動のみなもととなる気力。健康で勢いの良い事。と書かれています。その健康づくりに必要な物は、健康食品やサプリメントや薬ではありません。皆さんも分っているはずなのですが・・・?なぜ玄米が主食になったのか?今はなぜ白米を食べているのか?白米は本当に主食か?など玄米のいろいろについてお話しします。

『大激論！今こそ夢ある都市再生を考えよう』

都心のあり方、再生の方向と可能性について市民と一緒に考えます。

基調講演：「都心再生の失敗とこれから（仮題）」

海道清信（かいどう きよのぶ）【名城大学教授】

と き：平成21年8月30日（日） 午後1時30分～4時30分

と ころ：静岡文化芸術大学（中区中央二丁目）南281教室

申 込：当日、直接会場へお越しください。

問 合 せ：浜松まちづくりセンター 053-457-2616

まちづくり楽校

もり

「森林の木を知ろう！」

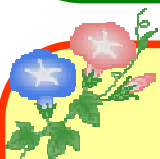
山の大切な働きと森林(もり)の木の役割についてのお話しを聞き、木工体験(木工クラフト、丸太切り等)では実際に触れながら木について楽しく学びます。

平成21年10月11日(日) 13:30～15:30 浜松まちづくりセンター2階

費参加費 300円(保険料・資料代) 費対象 小学生以上

費お申込・お問合せ 9月20日(日)からお電話で浜松まちづくりセンターへ

共催：天竜森林組合



まちづくりセンター 新スタッフ紹介

古山栄子です。
皆さんのお手伝いが
出来たら良いなあ～。
と思っています。
よろしくをお願いします。



***** 編 集 後 記 *****
* 5月23日(土)にエコパで行われた全国B級グルメグランプリに *
* 行ってきました。食券販売が9時30分～だったので、少し早めにと *
* 思い、9時15分到着。…が、既に駐車場は満車に近い状態で、か *
* ろうじてセーフ。しかも食券売り場の最後尾は遥かうしろ。人ごみと *
* 暑さに耐えながら待つこと2時間30分。ようやく食券売り場に到 *
* 達。食券を購入できる達成感よりも人ごみから抜けられる開放感に *
* 喜び。1番のお目当ては食べることが出来ませんでした。 *
* とても美味しいもの、私の口には合わないもの、様々で *
* した。お店の方とも少しお話しをしましたが、みなさんの *
* 地元を愛する気持ちがものすごく伝わってきました。 *



浜松まちづくりセンター通信「はままつ風しんぶん」

発行：浜松まちづくりセンター（平成21年7月）

430-0929 浜松市中区中央1-13-3

(財)浜松まちづくり公社(指定管理者)

☎053-457-2616 FAX053-457-2617

メール：h-m-c@msi.biglobe.ne.jp

HP：http://www.hamamatsu-machi.jp/center/

